

以下のとおり機能追加・機能改善が行われました。

---

○NVR510 Rev. 15. 01. 06 からの変更点

---

■機能追加

[1] L2MS について、以下の拡張を行った。

- スレーブの最大管理台数を 32 台から 64 台に拡張した。
- 自機を L2MS のスレーブとして動作できるようにした。
- L2MS

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/swctl/index.html>

- LAN マップ機能

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/lanmap/index.html>

外部仕様書をよくご確認のうえ、ご利用ください。

[2] モバイルインターネット機能で、以下のデータ通信端末に対応した。

- グリーンハウス GH-UDG-MCLTED
- au Speed USB STICK U03 (モデムモード)

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/mobile-internet/index.html>

外部仕様書をよくご確認のうえ、ご利用ください。

[3] IPIP トンネリングで、トンネル端点の FQDN 指定と IPIP キープアライブに対応した。また、IPIP トンネリングで自分側と相手側のトンネル端点をそれぞれ個別に指定する

以下のコマンドを追加した。

- tunnel endpoint local address
- tunnel endpoint remote address

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/ipip/index.html>

外部仕様書をよくご確認のうえ、ご利用ください。

[4] DNS サーバーへの AAAA レコードの問い合わせを制限するコマンドを追加した。

○DNS サーバーへの AAAA レコードの問い合わせを制限するか否かを設定する

[書式]

```
dns service aaaa filter SW
```

```
no dns service aaaa filter [SW]
```

[設定値及び初期値]

SW

[設定値] :

---

設定値	説明
-----	----

```

-----
on          AAAA レコードの問い合わせを制限する
off        AAAA レコードの問い合わせを制限しない
-----

```

[初期値] : off

[説明]

DNS サーバーへの AAAA レコードの問い合わせを制限するか否かを設定する。

IPv6 での接続環境がないのに AAAA レコードが引けてしまうことで接続に失敗する場合は、このコマンドにより AAAA レコードの問い合わせに対して、AAAA レコードを回答しないようにする。

自機が DNS リレーサーバーになっている通信及び自機発の通信が影響を受ける。

- [5] ipsec ike nat-traversal コマンドで、IPsec NAT トラバーサル使用時に交換するペイロードを一部の実装に合わせるオプションを追加した。

○IPsec NAT トラバーサルを利用するための設定

[書式]

```

ipsec ike nat-traversal GATEWAY SWITCH [ OPTION ... ]
no ipsec ike nat-traversal GATEWAY [ SWITCH [ OPTION ... ] ]

```

[設定値及び初期値]

GATEWAY

[設定値] : セキュリティゲートウェイの識別子

[初期値] : -

SWITCH

[設定値] :

設定値	説明
on	NAT トラバーサルの動作を有効にする
off	NAT トラバーサルの動作を無効にする

[初期値] : off

OPTION

[設定値] :

設定値	説明
keepalive=INTERVAL	NAT キープアライブの送信間隔
off ...	送信しない
	30-100000[秒]
force=FORCE_SWITCH	on ... 通信経路上に NAT がなくても NAT トラバーサルを使用する
	off ... 通信経路上に NAT がなければ NAT トラバー

サルを使用しない

type=TYPE★

- 1 ... ヤマハルーターの従来の動作との互換性を保持する
- 2 ... NAT トラバーサル使用時に交換するペイロードを一部の実装に合わせる

-----  
[説明]

NAT トラバーサルの動作を設定する。この設定があるときには、IKE で NAT トラバーサルの交渉を行う。

相手が NAT トラバーサルに対応していないときや、通信経路上に NAT の処理がないときには、NAT トラバーサルを使用せず、ESP パケットを使って通信する。対向のルータや端末でも NAT トラバーサルの設定が必要である。いずれか一方にしか設定がないときには、NAT トラバーサルを使用せず、ESP パケットを使って通信する。

TYPE に対応した機種同士で接続する場合、TYPE を同じ設定にして接続する必要がある。また、TYPE に 2 を指定した場合、TYPE に対応していない機種との接続はできない。

[ノート]

ipsec ike esp-encapsulation コマンドとの併用はできない。また、IPComp が設定されているトンネルインタフェースでは利用できない。IKEv1 では、メインモードおよび、アグレッションモードの ESP トンネルでのみ利用できる。AH では利用できず、トランスポートモードでも利用できない。ただし、L2TP/IPsec で使用される IKEv1 では、メインモードかつトランスポートモードの ESP トンネルでも利用できる。AH では利用できず、トランスポートモードでも利用できない。IKEv1 メインモードでの NAT トラバーサルは、RTX5000、RTX3500 Rev. 14.00.22 以降、RTX1210 Rev. 14.01.20 以降のファームウェアで利用できる。

- [6] トリガメール通知機能と Lua のメール通知機能で SMTPS に対応した。

メール通知機能

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/mail-service-status/index.html>

Lua スクリプト機能

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/lua/index.html>

外部仕様書をよくご確認のうえ、ご利用ください。

- [7] Lua スクリプト機能の rt.httprequest 関数で、以下の機能に対応した。

- HTTPS による通信

- Bearer 認証

これに伴い、Lua スクリプト機能バージョンを 1.08 とした。

[http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/lua/rt\\_api.html](http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/lua/rt_api.html)

外部仕様書をよくご確認のうえ、ご利用ください。

- [8] Web GUI のかんたん設定に、以下の設定ページを追加した。

- [VPN]-[拠点間接続]にデータコネクタ接続に関する設定ページ

- [9] Web GUI のかんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]-[IPIPに関する設定]で、以下の機能に対応した。

- 接続先のホスト名指定

- IPIP キープアライブ

[10] Web GUI の詳細設定に、以下の設定ページを追加した。

- [プロバイダー接続]
- [セキュリティ]-[不正アクセス検知]

[11] Web GUI の詳細設定の[メール通知]で、通知内容の選択肢に不正アクセス検知を追加した。

[12] Web GUI の管理に、以下の設定ページを追加した。

- [アクセス管理]-[各種サーバーの設定]
- [外部デバイス連携]-[USB / microSD]
- [本体の設定]-[DOWNLOAD ボタンの設定]

これに伴い、[管理]-[保守]-[ファームウェアの更新]-[ファームウェア更新の基本設定]の「ダウンロードボタンの使用」を削除した。

[13] Web GUI の画面上部に SYSLOG を表示するボタンを追加した。

[14] Web GUI で、ログインタイマーの残り時間に応じて以下のダイアログを表示するようにした。

- ログインタイマーの残り時間が少なくなったとき  
残り時間の延長を促すダイアログ
- ログインタイマーが満了したとき  
自動的にログアウトしたことを通知するダイアログ

#### ■仕様変更

[1] Web GUI の推奨 Web ブラウザーとして Microsoft Edge に対応した。

[2] TCP セッションの MSS 制限の設定をする以下のコマンドで、初期値を off から auto に変更した。

- ip INTERFACE tcp mss limit
- ip pp tcp mss limit
- ip tunnel tcp mss limit
- ipv6 INTERFACE tcp mss limit
- ipv6 pp tcp mss limit
- ipv6 tunnel tcp mss limit

[3] LAN インターフェースで受信可能なフレームサイズを 1518 バイトから 1522 バイトに変更した。

[4] 内蔵フラッシュ ROM への書き込み処理の信頼性を向上させた。

[5] ip route コマンドで宛先に 0.0.0.0/0 を指定した場合、default と表示されるようにした。

[6] Web GUI の LAN マップで、以下の変更を行った。

- SWX2200 の機器名をデフォルトの機器名に戻せるようにした。

- 新しい機器が接続されたときは常にトポロジーの最下部に追加していたが、当該機器の接続ポート番号やスナップショット機能による検出状態に応じた位置に挿入するようにした。
- マスター配下の機器のポート番号を lanN:M の形式で表示するようにした。
- タグ VLAN ページに「表示の更新」ボタンを追加した。

[7] Web GUI の LAN マップの一覧マップについて、以下の変更を行った。

- トポロジー全体を表示しているときの経路名表示を「root」にした。
- マスター、およびスレーブのダウンリンクポートの表示位置を変更した。
- リンク速度が不明である場合、機器間の接続線を灰色で表示するようにした。
- マスター、スレーブ、および SSID の総数が 200 を超える場合、ミニ一覧マップを表示しないようにした。

[8] Web GUI のダッシュボードのインターフェースガジェットで、アナログ親機モードで動作しているときの TEL ポートのツールチップの表示内容を変更した。

[9] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、発信制限を解除できるようにした。

[10] Web GUI のプロバイダー接続で、接続種別の判定条件を改良した。

[11] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、プロバイダー接続の設定を変更するとき、設定項目と直接関係の無いコマンドの設定を変更しないようにした。

[12] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、デフォルトゲートウェイの設定を変更したとき、同じゲートウェイが設定されている静的経路設定も変更するようにした。

[13] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、以下の変更を行った。

- IP フィルターの選択項目から「利用するアプリケーションを選択する」を削除した。
- ヘルプアイコンを追加した。

[14] Web GUI のかんたん設定の[IP 電話]-[SIP サーバー接続]で、YSL-V810 に対応した。種別の選択ページの「ヤマハ電話帳サーバー」より設定することができる。

[15] Web GUI の以下の箇所の表示内容を変更した。

- 詳細設定、管理で使用されている黒色のボタン
- 詳細設定の[ルーティング]-[静的ルーティングの設定]
- 詳細設定の[メール通知]
- 詳細設定の[メール通知]-[メール通知の設定]
- 詳細設定の[DNS サーバー]-[DNS サーバー機能の基本設定]
- 管理の[アクセス管理]-[ユーザーの設定]
- 管理の[保守]-[コマンドの実行]
- 管理の[保守]-[SYSLOG の管理]

[16] Web GUI の詳細設定の[NAT]-[NAT ディスクリプターの設定]について以下の変更を行った。

- 「変換方法」の「NAT・IP マスカレード」を「NAT/IP マスカレード」に変更した。
- 「変換方法」で「変換しない」を設定したときに `no nat descriptor type` コマンドを実行するようになった。
- 「外側アドレス」で「IPCP」を設定したときに `no nat descriptor address outer` コマンドを実行するようになった。
- 「内側アドレス」で「自動(auto)」を設定したときに `no nat descriptor address inner` コマンドを実行するようになった。

[17] Web GUI の詳細設定の [DNS サーバー]-[DNS サーバー機能の基本設定] の設定項目「ホストのアクセス許可」について、以下の変更をした。

- 「すべて許可しない」の選択肢を削除した。
- 「すべての LAN インターフェース」の選択肢を削除した。
- 複数のインターフェースを選択できるようにした。
- タグ VLAN インターフェースを選択できるようにした。
- ポート分割 VLAN インターフェースを選択できるようにした。

[18] Web GUI の管理の [アクセス管理]-[ユーザーの設定]-[管理パスワードの設定] で設定内容を変更しないで「確認」ボタンを押したときに表示されるエラーメッセージを変更した。

[19] Web GUI のヘルプで以下の変更を行った。

- ダッシュボードの [各ガジェットについて]-[システム情報] の項目「システム時刻」についての説明文を修正した。
- LAN マップの [タグ VLAN] にタグ VLAN の設定可能上限数を追記した。
- かんたん設定の [プロバイダー接続] で文言を修正した。
- かんたん設定の [VPN]-[拠点間接続]-[経路に関する設定ページ] で、「接続先の LAN 側のアドレス」の最大設定数の記述を追加した。
- 管理の [保守]-[CONFIG ファイルの管理] に、CONFIG ファイルを暗号化/復号するときのパスワードの入力仕様を追記した。

[20] Web GUI の詳細設定、管理の画面左側のメニュー構成を変更した。

[21] Web GUI で以下の名称を変更した。

- LAN マップ
  - コントローラー → マスター
  - 端末マスター → 端末情報 DB

[22] Web GUI で表記のゆれを修正した。

[23] LAN マップで使用する OUI ファイルを更新した。

[24] `dhcp scope` コマンドを実行したとき、関連する予約アドレスとオプションの設定情報が消去されないようにした。

[25] 通信帯域が細い回線経由での Web GUI やカスタム GUI へのアクセス性能を改善した。

## ■バグ修正

[1] モバイルインターネット機能で、データ通信端末へのデータまたはコマンドの送受信に失敗したとき、リポートすることがあるバグを修正した。

- [2] ip INTERFACE tcp mss limit コマンド(初期値 off)に off 以外の値を設定しているとき、不正なフォーマットのウィンドウスケールオプションを含んだ TCP パケットを受信するとリポートすることがあるバグを修正した。  
Rev. 15.01.03 以降で発生する。
- [3] 通信中に IPIP トンネルの設定を変更するとリポートすることがあるバグを修正した。
- [4] ipv6 route コマンドで、宛先に::/0 を指定したときにリポートするバグを修正した。
- [5] pp always-on コマンドが on に設定されている PP インターフェースが存在し、当該 PP インターフェースで自動接続の確立に失敗したとき、ごく稀にリポートすることがあるバグを修正した。
- [6] dhcp client option コマンドでパラメーターが足りないときにリポートするバグを修正した。また、no dhcp client option コマンドでパラメーターが足りないときのラーメッセージを修正した。
- [7] analog sip arrive myaddress コマンド設定で、SIP アドレスを入力せずにコマンドを実行すると、リポートしたり間違ったエラーが表示されるバグを修正した。
- [8] Web GUI のかんたん設定の[ネットボランチ DNS]および[IP 電話]-[ネットボランチ電話]で、ホストアドレスや電話アドレスの設定/削除を行ったとき、ルーターの動作が不安定になったりリポートやハングアップが発生することがあるバグを修正した。
- [9] L2MS のマスターとして動作している状態で以下のいずれかの条件を満たしたとき、メモリーリークが発生するバグを修正した。
- スレーブスイッチ (SWX2300 シリーズ、SWX2100-24G) で SFP 受光レベル異常が発生した
  - スレーブスイッチ (SWX2300 シリーズ、SWX2100-24G) で送信キュー使用率異常が発生した
- [10] SIP 通信中の呼に対して OPTIONS リクエストを受信したときにレスポンスを返すとメモリーリークが発生するバグを修正した。
- [11] dhcp scope bind コマンドでクライアント ID を使用する設定を行ったあと、その設定を削除するとメモリーリークが発生するバグを修正した。
- [12] モバイルインターネット機能の WAN インターフェース接続で、不要な発呼動作が行われてしまうことがあるバグを修正した。
- [13] モバイルインターネット機能の WAN インターフェース接続で、モバイル端末からの自動発信処理が行なわれないことがあるバグを修正した。
- [14] L2TP/IPsec で、1 つのトンネルに対して複数のクライアントが接続できてしまうことがあるバグを修正した。現象が発生した場合は先に接続していたクライアントが切断される。
- [15] L2TP/IPsec で、接続および切断時にブザーが鳴らないバグを修正した。

- [16] ファストパスが有効の状態では IPIP トンネリングによる通信を行っているとき、`tunnel endpoint address` コマンドでトンネル端点のローカルアドレスを変更しても、設定変更前のローカルアドレスに従ってファストパスによる転送処理が実行されてしまうバグを修正した。
- [17] NGN への接続において、DHCP の更新が発生したときに、DHCP により生成されたテンポラリのデフォルト経路が削除されることがあるバグを修正した。通常はプロバイダー等を経由したインターネットへのデフォルト経路が静的に設定されているために通信に影響はない。NGN 網を介した通信は、DHCP オプションで通知されている経路が有るため、これが発生しても通信に問題はない。
- [18] NAT/IP マスカレード機能で、FTP の `PORT` コマンドに記述される文字列が `001` や `099` のように 1~2 桁の数字が 3 文字で記述された場合に、ポート番号を間違った数値に書き換えてしまうバグを修正した。
- [19] イーサネットフィルタ機能で DHCP 予約情報を使用しているとき、`dhcp scope bind` コマンドの書式をイーサネットフィルタ機能に対応している書式 (`ethernet`) から対応していない書式に変更した場合に、イーサネットフィルタが継続して動作してしまうバグを修正した。
- [20] `dhcp client release linkdown` コマンドが `on` に設定されているとき、同コマンドのタイマー値よりも長くリンクダウンしたにもかかわらず、経路情報等が削除されないバグを修正した。  
本バグにより、リンクアップ後に新たに DHCP サーバーから得た経路情報が反映されないことがあった。
- [21] ある不正な DHCP サーバー機能に関する設定が入った状態でルーターを起動したとき、以降 DHCP サーバー機能が動作しないバグを修正した。
- [22] SNMP で PPPoE に設定した PP インターフェースに関するプライベート MIB の値を取得するとき、正しい値が取得できないことがあるバグを修正した。
- [23] Lua のハードウェアライブラリで、以下のバグを修正した。
- E3 と B4 のブザーを鳴動できない
  - `cpu3` と `cpu4` を指定してもエラーにならない
- [24] SWX2300 シリーズから送信負荷の異常を通知されたとき、キューの番号と負荷の状態のログが正しく表示されないバグを修正した。
- [25] 以下のコマンドで結果が 2000ms 以上と表示されることがあるバグを修正した。
- `traceroute`
  - `traceroute6`
- [26] `ip INTERFACE intrusion detection threshold` コマンドが入力できるバグを修正した。
- [27] `ipv6 INTERFACE mld` コマンドでパラメーターにキーワード以外の値を入力しても設定できてしまうバグを修正した。
- [28] `show lan-map` コマンドで `detail` オプションを 2 回タブ補完できるバグを修正した。



[29] 以下のコマンドで不正な入力したときのエラーメッセージを修正した。

- no ip keepalive
- no ipsec sa policy
- switch control function set macaddress-aging-timer

[30] 以下のコマンドヘルプの誤記を修正した。

- clear nat descriptor dynamic
- connect
- ipsec sa policy
- l2tp keepalive use
- no ipsec sa policy
- switch control function get mirroring-dest
- switch control function get mirroring-use
- switch control function get status-fan-rpm

[31] ONU インターフェースでプロバイダー接続設定がされていないにもかかわらず、WebGUI の以下のページで ONU インターフェースのプロバイダー情報が表示されるバグを修正した。

- ダッシュボードの「プロバイダー接続状態」ガジェット
- かんたん設定の[プロバイダー接続]の「設定の一覧」

[32] Web GUI の以下のページで、チェックボックスやラジオボタンに対応するテキストをクリックしても、チェックボックスやラジオボタンの状態が切り替わらないバグを修正した。

- ダッシュボード
- かんたん設定
  - [VPN]-[リモートアクセス]-[共通設定]
- 詳細設定
  - [NAT]-[NAT ディスクリプターの設定]

[33] Web GUI のダッシュボードのインターフェースガジェットで、カスケード接続しているとき、TEL ポートのツールチップが正しく表示されないバグを修正した。

[34] Web GUI の LAN マップで、端末管理機能を有効、無効、有効の順番で切り替えたとき、ヤマハ無線 AP に接続されている端末が検出できなくなるバグを修正した。

[35] Web GUI の LAN マップの以下の画面で各種設定や保守操作を行ったとき、正しくエラーメッセージが表示されないことがあるバグを修正した。

- マップ画面の「スイッチの設定・保守」ダイアログ
- マップ画面の「ポートの設定」ダイアログ
- タグ VLAN 画面の「VLAN 間フィルター」設定ダイアログ

- [36] 同じ経路のスレーブが複数台存在する構成で LAN マップを使用しているとき、WebGUI の一覧マップでスレーブが正しく表示されないことがあるバグを修正した。
- [37] Web GUI の以下のページで、正しい内容が表示されないバグを修正した。
- かんたん設定の[基本設定]-[LAN アドレス]-[入力内容の確認]の「詳細の表示」ボタンをクリックして表示されるページ
  - 詳細設定の[LAN]-[入力内容の確認]の「リストを別ウィンドウで開く」ボタンをクリックして表示されるページ
- Rev. 15. 01. 03 以降で発生する。
- [38] Web GUI のかんたん設定の[基本設定]-[管理パスワード]で、管理パスワードが暗号化なしで設定されていても「パスワードの暗号化」の「暗号化する」が選択されているバグを修正した
- [39] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]から、設定を新規追加、変更、削除したとき、ip route コマンドのオプション設定が規定の設定に上書きされてしまうバグを修正した。
- [40] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、プロバイダー接続設定を削除するとき発生する以下のバグを修正した。
- 削除するインターフェースが適用している NAT ディスクリプターが、他のインターフェースに設定されていたとしても、その NAT ディスクリプターが削除されてしまうバグを修正した。
  - プロバイダー接続設定時に自動で設定される NAT ディスクリプターのみ削除され、それ以外の番号の NAT ディスクリプターをインターフェースに適用していたとしても削除されないバグを修正した。
- [41] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、プロバイダー接続のユーザーID と接続パスワードが全角文字列で設定されていると、プロバイダー情報の設定ページが開かなかったり、文字化けしたりするバグを修正した。
- [42] Web GUI で、同じインターフェースに対してひかり電話と PPPoE 接続または IPv6 IPoE (DHCP)接続を設定できないバグを修正した。
- [43] Web GUI で以下の操作を行うと、必要な静的 IP マスカレードが設定されないことがあるバグを修正した。
- プロバイダー接続設定がある状態で、かんたん設定の[VPN]から VPN 接続の設定を追加する
  - プロバイダー接続設定がある状態で、かんたん設定の[IP 電話]から各種電話サービスの設定を追加する
  - VPN 接続、または sip use on の設定がある状態で、かんたん設定の[プロバイダー接続]から、「推奨の IP フィルターを設定する」を選択して設定変更を行う
- [44] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]-[IP フィルターの設定]で、16 個以上静的 IP マスカレードが設定されているインターフェースに対して IP フィルターの設定を行ったとき、15 個までしか静的 IP マスカレードのためのフィルターが設定されないバグを修正した。
- [45] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、接続種別が固定 IP のプロバイダー接続が WAN と ONU の両方に設定されているとき、優先順位の低い方のプロバイダー接続を削除すると、優先順位の高い方のプロバイダー接続のゲートウェイが削除されてしまうバグを修正した。

- [46] Web GUI のかんたん設定の[プロバイダー接続]で、VPN 用のポートを開放していないプロバイダー接続と VPN の両方が設定されているとき、プロバイダー接続の新規作成またはフィルターの設定の変更を伴った設定変更をすると、VPN 用のポートを開放していないプロバイダー接続にも VPN 用のポートが開放されてしまうバグを修正した。
- [47] Web GUI の以下のページから設定を削除するとき、不要になった ip keepalive コマンドと ip filter コマンドが削除されないバグを修正した。
- かんたん設定の[プロバイダー接続]
  - かんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]
- [48] Web GUI のかんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]で、IPIP の設定ページに「戻る」ボタンで遷移したとき、インターフェース情報が表示されないことがあるバグを修正した。
- [49] Web GUI のかんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]で IPIP の設定を行ったとき、IPIP トンネルを使用するインターフェースに NAT が適用されていない場合であっても、ローカルエンドポイントアドレスに LAN1 アドレスが登録され、IPIP トンネルによる拠点間通信ができないバグを修正した。
- [50] Web GUI のかんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]-[経路に関する設定]で、[接続先の LAN 側のアドレス]の最大設定数を超過しても入力欄を追加できてしまうバグを修正した。
- [51] Web GUI のかんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]の設定ページで、経路数が最大設定可能経路数(100)を超えていても、エラーメッセージが表示されないバグを修正した。
- [52] Web GUI のかんたん設定の[ネットボランチ DNS]で、ホストアドレスの設定を削除するとき、ホストアドレスの登録対象になっているインターフェースがリンクダウンしていると削除に失敗する仕様であるが、DHCP でアドレスを取得しているインターフェースの場合は、削除失敗のエラーメッセージが表示されないバグを修正した。
- [53] Web GUI のかんたん設定の[ネットボランチ DNS]の設定ページで、左側のフローにタイトルが表示されていないバグを修正した。
- [54] Web GUI のかんたん設定の[IP 電話]-[ひかり電話]で、プロバイダー接続設定後にひかり電話を使用する設定にすると、不要な静的 IP マスカレードと IP フィルターが設定されてしまうバグを修正した。
- [55] Web GUI のかんたん設定の[IP 電話]-[SIP 電話帳]で、TEL1 ポートと TEL2 ポートで異なる SIP ユーザー名を設定しているとき、一般ユーザー権限でログインすると SIP ユーザー名(自分)の「初期設定に戻す」ボタンがグレイアウトしないバグを修正した。
- [56] Web GUI のかんたん設定の[IP 電話]の以下のプレフィックス設定ページで、TEL ポートごとの入力ボックスに不正なプレフィックス値を入力して「次へ」ボタンを押してもエラーにならないバグを修正した。
- [ひかり電話]
  - [SIP サーバー接続]
  - [SIP 電話帳]
  - [ネットボランチ電話]

- [57] アナログ親機モードで動作しているとき、Web GUI の詳細設定の[IP 電話]-[カスケード接続]に一般ユーザーでログインしているにもかかわらずプレフィックスの設定ができてしまうバグを修正した。
- [58] アナログ親機モードで動作しているとき、Web GUI の詳細設定の[IP 電話]-[カスケード接続]を表示したあと、詳細設定の他のページを開くと javascript エラーが発生するバグを修正した。
- [59] Internet Explorer 11 で Web GUI の詳細設定の[IP 電話]の以下のページにアクセスしたとき、ラジオボタンの選択ボタンが表示されないことがあるバグを修正した。
- [TEL ポート]の「TEL ポートの設定」
  - [カスケード接続]の「カスケード接続モードの設定」
  - [カスケード接続]の「アナログ親機モードの IP アドレス設定」
- [60] Web GUI の詳細設定の[NAT]で、ポート番号に「ftp」が指定された静的 IP マスカレードの設定を含む NAT ディスクリプターに対して以下の操作を行ったときに、静的 IP フィルターの設定が連動して削除されないバグを修正した。
- [NAT]のトップページで NAT ディスクリプターを削除する。
  - [NAT]-[NAT ディスクリプターの設定]で、ポート番号に「ftp」が指定された静的 IP マスカレードの設定を削除する。
  - [NAT]-[インターフェースへの適用の設定]で、インターフェースから適用を外す
- [61] PPTP が設定されているとき、Web GUI の以下のページでインターフェース名に誤りがあるバグを修正した。
- 詳細設定の[NAT]
  - 詳細設定の[セキュリティ]-[IP フィルター]
- [62] Web GUI の詳細設定の[IP フィルター]と[NAT]で、インターフェースの一覧の種別が以下のように表示されるバグを修正した。
- 「L2TP/IPsec」のとき、「PPTP」と表示される
- [63] Web GUI の詳細設定の[セキュリティ]-[IP フィルター]で送信元情報や宛先情報に設定される IP アドレス長が非常に長いときに正しく表示されなかったり、意図した設定ができなかったりするバグを修正した。
- [64] Web GUI の詳細設定の[セキュリティ]-[IP フィルター]を表示すると、ブラウザでメモリーリークが発生するバグを修正した。
- [65] プロバイダー接続の設定名に「¥」が含まれるとき、以下のページでインターフェースの一覧が表示されないバグを修正した。
- 詳細設定の[セキュリティ]-[IP フィルター]
- [66] Web GUI の詳細設定の[メール通知]-[メール通知の設定]で、設定を行ったときに WebGUI で対応していないメール通知の種別の設定が削除されるバグを修正した。
- [67] Web GUI の管理の[アクセス管理]-[ユーザーの設定]で、ユーザーが最大数設定されているときに「新規」ボタンを押すと、設定画面に進むことができってしまうバグを修正した。
- [68] Web GUI の管理の[保守]-[コマンドの実行]で、「<」や「>」などの記号が出力されるコマンドを実行すると、「コマンド実行結果」で文字化けして表示されるバグを修正した。

[69] Internet Explorer 11 を使用しているとき、Web GUI で使用されている画像アイコンが一部欠けて表示されることがあるバグを修正した。

[70] Web GUI に管理者としてログインした後、ログアウトせずに一般ユーザーとして再度ログインしたとき、以下の不具合が発生するバグを修正した。

- Web GUI の画面右上のユーザー種別の表示が「管理ユーザー」と表示される
- show status user コマンドの実行結果で、Web GUI にログインしているユーザーの行に、管理者モードを表す+マークが表示される

[71] Web GUI のかんたん設定の[VPN]-[拠点間接続]の接続種別の選択で、IPsec が表示されてしまうバグを修正した。

[72] Web GUI のヘルプの以下のページで誤記を修正した。

- LAN マップ
- 管理の[アクセス管理]-[ユーザーの設定]

[73] Web GUI の詳細設定の[IP 電話]-[TEL ポート]のヘルプページで、タイトルが表示されないバグを修正した。

以上